

『翼』 作…ポチ子

私が翼を持っていたとして、

大空を羽ばたくだろうか。

どんくさくて、

不器用だから、

他の鳥たちと同じように飛べないと、

よちよち地面を歩くかもしれない。

恥をかくくらいなら、その方がマシだと、

大きな翼が見えないように隠して。

他の鳥たちは笑う。

惨めに地面を歩く私を見て、

なんて馬鹿な野郎なんだって笑う。

それでも私は飛ばない。

飛ばないことを馬鹿にされるより、

飛ばないことを馬鹿にされる方が嫌だからだ。

私が翼を持ったなら、

翼は大空を飛ぶための道具ではなく、

私を地面に縛り付ける鎖になる。